

ふみびと

第351号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

ふと気づく 日常の向こう側

特別な思い

街中などでふとした時に聞こえる自分の名前。自分のことを話していたり、呼ばれているわけでもないし、他にも人の話し声は聞こえているのになぜか自分と同じ名前が出た時だけははっきりと聞こえる不思議なできごと。

「これはカクテルパーティー効果といって心理学的に自分の名前や興味があることは耳に入りやすいのだそうです。接客の仕事では「お客

様」ではなく、その人の名前と呼ぶことで「お客様」との心の距離が近づいたり「自分のことを認識してくれている」と思っていただけのため、積極的に行われているようです。

自分の名前が気に入っているかどうかは別として、人にとって自分の「名前」というのはやはり特別なもの。ペットやゲームのキャラの名前のように、自分で気に入ってつけたものではないけれど、それぞれの人を識別するためではない、何か自分の心や身体の大さな一部のようにも思えます。



夕刻、久しぶりに原っぱの真ん中で横になると、いつも見ている景色とは違う、空中心の景色を見ることが出来る。普段の景色とは全く違う、空だけの世界。流れる雲を目で追って、そこで初めて時間が流れていることを知る。大地の温かさを背中に感じ目を閉

じる心地よさ。そのどれもが、いつもとは違う新鮮であった。日々その背景に過ぎない。自分で物の見方を変えるのは難しいが、空のようにこんな簡単な方法で全く別の景色が見えることもある。風景や人間・仕事関係にしろも様々な景色があるが、それらを様々な角度で見られる余裕は常に持っていたいものだ。

前景の空

「こんな子に育ってほしい」
もしかしたらそんな両親の思いが込められているからなのかもしれません。子どもの頃は、友達の名前がかっこよくて羨ましく思ったこともありましたが、自分の名前の由来を母に聞いたときに、

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだす。事務信同の筒さで流す。宛封下まで交り局用封今いま



次回発送日

次回の発送日は、8月19日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前（16日）までに事務局に到着するようにお送りください。

お知らせ

★新機能実装

この度、マイページに新機能「げんき予報」と「感情日記」を追加しました。この機能は日々の感情を気軽にシェアし、手紙を出すきっかけを増やすことを目的としています。これをきっかけに、まだやりとりをしていない方との新しい繋がりが広がれば幸いです。

